

2023年5月1日発行

第629号(通算)

発行:奇数月1日

会員購読料:1月10円(年間60円)
一般購読は別途送料

環境と健康

発行者

一般財団法人 ~みんなの生命(いのち)をまもりたい~
広島県環境保健協会
佐藤 均
広島市中区広瀬北町9番1号
郵便番号 730-8631
電話 082-293-1511番
振替口座01380-2-27511
URL <http://www.kanhokyo.or.jp/>

G7サミットに絡め宇品・宮島を清掃 海洋プラスチックごみ削減へ

広島県では、2050年までに瀬戸内海に新たに流出するプラスチックごみをゼロにすることを目指し、官民連携組織「GSHIP(ジーシップ)」を作り、取り組みを進めています。

取り組みの一環として、G7広島サミット開催100日前及び50日前に合わせて、広島県主催の海岸清掃が実施されました。

当協会からも24人が参加

100日前清掃は、サミットのメイン会場となるホテル周辺の元宇品海岸で、50日前清掃は、宮島の包ヶ浦海岸で実施しました。両会場合わせて、GSHIP会員や地元自治会など約390人が集まり、海岸を清掃するとともに、漂着ごみを見たり、テキスト等で学びま

した。

当協会からは、理事長・常務理事を含む24人が参加し、他の参加者と共に汗を流しました。

GSHIPは、今後も陸域を含めた範囲で海洋プラスチックごみ削減の取り組みを展開する予定です。公衛協が行う美化活動と連携して、住みよい環境づくりの実現を目指します。

その活動の一環に広島県・広島市の衛生行政主催の食品衛生講習会の実施があります。講習会は広島県内全域で開催し、4月5日までに37回、

この講習会の実施があります。講習会は広島県内全域で開催し、4月5日までに37回、



熱心に聴講する講習会参加者



漂着ごみについて解説する当協会職員

広島市で開催されるG7広島サミットまでよいよ1ヶ月を切りました。当協会は2月からG7広島サミット開催に向けた食の安全・安心への取り組みを行っています。

その活動の一環に広島県・広島市の衛生行政主催の食品衛生講習会の実施があります。講習会は広島県内全域で開催し、4月5日までに37回、

この講習会の実施があります。講習会は広島県内全域で開催し、4月5日までに37回、

食品衛生講習会を開催

環保協

とが間違つていなかつたので安心した」と

いた声や「過去に異物が問題となつたこと

があるため、改めて

注意しようと思つた」、「記録の継続化

が大事」といった意見

等が寄せられました。

特に参加者が熱心に

聴講した内容は、

「HACCPに沿つた

物対策、⑤HACCP

に沿つた衛生管理

といった、食品事業者

における常識的

問題のポイントについ

て解説しています。

参加者からは、「お

かなければならぬ

問題のポイントについ

て解説しています。

店で取り組んでいるこ

とに、問題のポイントについ

て解説しています。

おかなればならぬ

問題のポイントについ

て解説しています。

店で取り組んでいるこ

とに、問題のポイントについ

て解説しています。

店で取り組んでいるこ

とに